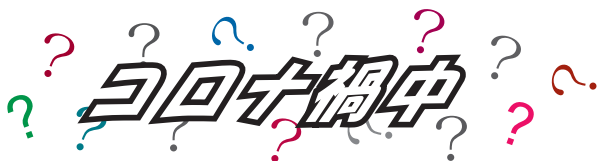


皆んなで選んだ
今月の秀句

生き残る過疎に無慈悲な核のゴミ

中野 林
遠田 亀公子



民営化の旗を振った
中曽根康弘元総理の国葬式
(自衛隊を動員 10 月 17 日 / 政府と自民党の共催)



費用、税金で
1 億円!

2020 年を象徴するコロナ禍と核ゴミ処分問題。呑気な G O T O なんとかで、全国での感染拡大が危惧される。過疎の町は防衛と生き残りに必死。それにつけ込み核ゴミの捨て場を札束積んで作らせる政府。なんと非情で無慈悲なことか。(周)

例会案内

11 月例会
投稿締切
課題「感」
自由吟
自選句、自解筆もよろしく。

11 月 26 日 (木)
23 日 (月)
3 句以内
5 句以内

◆ 目次

川柳互選・課題吟「無」	2
自由吟	3
自選句・おたより	5
ほのぼの川柳	6
戦争前夜抄 ② 《竹久夢二 ②》	8
夢二と与謝野晶子	8
「シベリア抑留記」を読んで	12
4 人からの感想文	12
編集後記を兼ねて	16

「和」川柳社 10 月会報 No. 697

定例会 2020 年 10 月 22 日 (木)

10月の 川柳互選

◆ 点の付け方

推薦句◎…2点、準推薦句○…1点
 ◎3句以内。○全体の半数以内。

◆ 課題吟「無」(互選)

一人3句以内吐

(投句13人/13人の互選)

説明なし無理矢理無意味なことをする	徹乗
乾パンに誓う無低拒否で生きる	白眞弓
ナムアミダ他力本願旧い街	一角
1 有りが無し「アベ」以上により拍車	宏
2 菅総理 学術会議六名無し	宏
2 敗れたがああ汗無だと思はない	ダン吉
3 無理矢理な任命拒否の言い訳を	高坊
3 無になれて気楽なんです他人さま	ダン吉
3 反政府デモ無にしたい本音が出	徹乗
3 無い袖をありそうに言う大臣が	一角
3 汗をかき無口な友と対峙する	ダン吉

4 森加計桜無かったことにして辞任	徹乗
4 こだわった無添加の店開きたい	高坊
4 高齢の関心無くする横文字は	未知子
4 影かたちなくなっている安倍の顔	一角
5 無理せずに俺は百まで生きてやる	北の山
5 狂犬が無法を誇って吠える闇	林
5 無理矢理に古都を壊すならず者	大峰
5 無い袖も振れば現実ついてくる	白眞弓
6 無理難題わかった振りするその笑顔	立東爺
6 安売りの棚が居場所の無精卵	亀公子
6 無一文コロナの先に干涸らびる	大峰
7 カタカナ語無理して解ったふりをする	未知子
7 大戦の反省無しか菅政権	北の山
7 カタカナ語解りたいのに辞書にも無い	未知子
8 汚染水希釈無害は禍根だけ	広助
8 改竄を暴く正義へ無視の壁	亀公子
8 無理矢理に爆買いさせる思いやり	大峰

8	政権に付度し無い拒否事件	広助	1	“福一”の悪夢の水が流れ出す	高坊
8	権力に物を言わせて無理通す	林	1	地車祭あつと言う間の秋やつた	ダン吉
9	菅丸も反省無しで船出する	北の山	1	ベーシックインカムたつた8万とや顔し	白眞弓
10	無駄金と弔旗に黙祷中曽根葬	広助	2	永田町解散近い闘いだ	一角
10	憲法に敬意のカケラもない総理	林	2	マスクしてデスタンスしたまた不安	広助
10	無味無臭汚染水の放出だ	高坊	2	どんなとこ自民党箱スカばかり	北の山
11	Go-Toは文無しどもは対象外	白眞弓	2	菅総理 学問自由 介入す	宏
11	トリチウム無いことにして海に撒く	立東爺	3	政権に核ゼロ叫ぶ勇氣無い	広助
12	新総理理を蹴飛ばして無理通す	立東爺	3	靖國の英霊としてもてはやし	高坊
25	生き残る過疎に無慈悲な核のゴミ	亀公子	3	外国語日本語もだめな総理だ	一角

◆自由吟 (互選)

一人5句以内吐

(投句13人／13人の互選)

1	都構想北区中央拡大	一角	4	コロナでもアメリカ長者は肥え太り	大峰
1	認知機能足音しのばせ壊れる恐怖	未知子	4	公安の舞台は内閣人事局	立東爺
1	気に入らぬ学者だ僕が消しました	ダン吉	4	のり弁に政治不信の異臭わく	亀公子

4	都構想コロナ見切ってハンマ持ち	大峰	6	以前から 黒塗りさえも アベ踏襲	宏
4	公助です葬式だけは出してやる	白眞弓	6	安倍辞任ホツともつかの間女房が	北の山
5	暴言妄言染みついている政治屋某	立東爺	6	菅総理学問のテッペンに火を付ける	大峰
5	休みなくスカの弁明繰り返す	林	7	新型コロナ格差社会に蟻の列	広助
5	菅内閣付度役人ばかり居る	大峰	7	デジタル化で監視国家を作り上げ	徹乗
5	子育ての環境でない不妊治療	徹乗	7	法律を勝手に曲げる独裁者	北の山
5	日本国つぶした奴の国費葬	白眞弓	7	安倍のまね乾かぬ前の二枚舌	広助
5	ぎくしゃくと派閥の御輿しにのつて居る	大峰	7	行革に学術会議呑みこまれ	広助
5	日本語があつても横文字訳わからん	未知子	7	改訂版不都合な過去削除する	高坊
5	河井の二人弁護士解任歳費かな	未知子	8	ひたすらに公助むさぼる政権党	林
5	食卓にのぼらなくなる魚かな	高坊	8	ブーメラン「女性は嘘つく」自分刺す	立東爺
5	官邸は 自助前面に 格差大	宏	8	セイタカが蔓延っていく過疎列島	亀公子
6	カタカナ語解つたぢやんとするもんか	未知子	9	介護料払えず身ぐるみ剥がされる	林
6	雪ダルマ式に膨らむコロナの負	亀公子	9	王様は裸だと言った子の口塞ぎ	徹乗
6	横文字が氾濫今日も辞書めくり	未知子	10	お下がりを羽織る御仁のバカ騒ぎ	林
6	貧乏でGoToプラン縁がない	一角	11	後始末できぬ国での再稼働	徹乗
6	学問へ土足で入り込む愚行	亀公子	11	苦勞人仮面をとればヒットラー	白眞弓

11 非正規の老後がくぐる地獄門

13 俯瞰の上から目線でほくそ笑む

15 弱者には容赦しません叩き上げ

15 忬度が出世道の分岐点

18 コロナ禍の解雇に自助を説く非情

亀公子

徹乗

ダン吉

立東爺

林

自選句

◆自選句 中野 林

憲法に無礼働らく「苦労人」

国民を置いてきぼりのスリ動静

オイコラ急ぐ日常お断り

お茶の間を襲うメディア大洪水

メディアが築いたウソ山崩れ出す

秋深しコロナいつそう増すばかり

国会でお仕事しない面々で

靖国に集いし者が雄叫びす

靖国をねぐらに爪とぐタカの群れ

◆自選句 前田大峰

公明も引きずり込んで維新の壊し屋

根気よくデモで民主化見えて来た

税使つて桜枯らし害虫だけが生き残る

おたより

◆乱 鬼龍さんより（東京）

みなさんお元気ですか？

コロナの問題は、単に病気の問題ではなく、

私たちが拠って立っているこの時代、社会の「文

明、哲学、政治、経済、文化」といったものの

全てを、根底から問い、その革命的大変革をし

なければ、もはや人類そのものが、亡びるとい

う、時代が急速に進んでいると私は考えていま

す。それに対して「革新」とか、「左翼」とか「護憲」

「市民運動」「労働運動」といったものが、あま

りにもスケールも小さく、哲学的にも浅い、又、永田町の政治腐敗は、もはや政治とは呼べないようなものになっている。——こうした時代状況の中で、我ら（私は）何をなすべきか——と思ういで、今日、明日、微力を尽くしています。そうした中のひとつの行動として「救援川柳句集」も刊行しました。（※申し込み…16頁に）

◆山田和秋さんより（鎌倉市）

会報拝見しました。竹久夢二のこと初めて知

ほのぼの川柳

カマキリを捕るのに山に行きたがる	神田 鯛
長距離をトラックで走る夢持つよ	神田 鯛
遠距離をしたくてたまらぬわが心	神田 鯛
三途の川流れる先に何がある	東 爺
怖いもの監視カメラと女房の眼	東 爺

りました。鬼子母神は私が通っていた道で大変懐かしい所です。早稲田実業も早稲田文科も同じ早稲田の私にとって馴染み深いです。次回を楽しみにしています。

◆岩佐ダン吉さんより（大阪）

大阪府下四〇近くの川柳結社の大半が「誌上句会」のまま十カ月余。私も入院はあったもののこれだけ長期に他柳社の仲間と顔を合わせなかったのは初めて。だがこの「誌上句会」の参加者が好調。自宅での作句と出句、むろん交通費もゼロ。いつまで続くか交流もなく感動も薄い「誌上句会」。今、打つ手は何か？考えている。

◆坂本富沙子さんより

いつもお世話ありがとうございます。9月の会報、隅から隅まで読みました。父の文章、すつきりと掲載頂き本当にありがとうございます。父もきつと喜んでくれていると思います。

長年何とかしなくてはと思い続けてきた私の心の重荷がすっきりおりて、ほっとしています。本当にありがとうございます。

今日は他でもありませんが、菅政権が誕生しましたが、同一労働・同一賃金、日本学術会議委員の拒否等、腹の立つ事ばかり！ もう腹が立って、どうにもならずに下手な川柳をつくってみました。

・はつきりとももの言う人を分別し
会費も同封します。よろしく願います。

◆宮文子さんより（金沢市）

渡辺寛さんの文は、大変興味深く読みました！
何故かと言うと、前に戴いた川柳の冊子に、関東大震災の時の、朝鮮人の大虐殺と、大杉栄、野枝の虐殺について、事実を大変詳しく書いてあり、驚きました。その事を、言おう言おうと、思っていたのに、言いそびれていました。小池都知事が

朝鮮人虐殺について、哀悼の意を示さない事の重大さが、納得できました。渡辺さんに、感謝です。川柳の冊子だけど、とても参考になりました。

◆岩原一角さんより（金沢市）

朝ドラ「エール」に寄せて

エールはようやく、私に理解できる時代になった。闇市は金沢にもあった。それも片町かいわいやら金沢駅前である。子どもごろころに闇市というのは、フーテンが集まってる異質な世界かと思っていた。ところがある日、テント職人の父が「店の端切れを闇市に出したら、飛ぶように売れた」といったので、はじめてまっとうな市民が集まっていたと悟った。それにしても、非戦災都市で闇市があつて「飛ぶように売れる」というのはどういうことだったのだろう。ドッジラインによる品不足だろうか？

『戦争前夜抄』

22

周 立東爺

夢二と与謝野晶子

前号の後半、秋山清が紹介した荒畑寒村は自伝の中で竹久夢二について次の様に書く。

「夢二の名はようやく世に認められるようになったのであるが、彼は成功につれて昔のことなどは都合よく忘れてしまった。」（『寒村自伝』）

確かに、若き夢二は社会主義と反戦の画家と読者から見られ、『直言』『光』『日刊平民新聞』を舞台に多くの挿画で貧しき人々を書き、横暴な資本家や金持を描いている。

そして突然の大逆事件（1910年5月（M43／26歳）で仲間の多くを刑死で亡くした。事件への関与の容疑で2日間拘留されたこともあった。大逆事件は死刑24名、有期刑2名の大権力犯罪であった。

夢二はこの弾圧をきっかけに運動から離れていったとされている。

秋山清は寒村の夢二評に疑問を出す。

曰く、「夢二はたしかに、一時熱心に近づいていた社会主義から離れていったとはいえるだろう。だが、明治から大正への日本の、いわゆる大衆社会状況へと趨勢するその下に、乏しい者たちが離村向都に慣れてゆく姿を、その人々にもっとも親しい感情に立つて描き、描くことによつて、下降を急ぐ日本の民衆の生活的な憂愁を表現しつづけた夢二にとつて、若い日の友人寒村から「成功につれて昔のことを都合よく忘れた」といわれたが、その転向は責めらるべきほどのものであっただろうか。」と指摘し、夢二の作品を吟味検討し、「転向」とは何か？と設問し、夢二を擁護する。

秋山が問う。「転向とは何か？」

「転向」とは何か？ と秋山は問う。

「終戦後

戦時中の政治家や思想家などの、政治的思想的変転の責任を問いはじめられたとき「転向」という言葉が改めて問題となった。それは革命運動に加わっていた者が共産主義などを捨てて愛国主義に転じたことなどを指しているようになった。本来転向の二字はあらゆる問題——生き方、思考、主張、政治的または哲学的見解のそれぞれの場合の変化（あるいは進歩）にたいして言われていいはずである。だから寒村が夢二をとらえて「昔のことを都合よく忘れた」といつて社会主義からの転向、即ち脱落者であったかのようにいうことに、私は賛成しがたいものを感じる。」



竹久夢二 40歳

夢二の49年11カ月の生涯をみると、20代の社会主

義青年だったころでも、挿画で表現する厳しい社会批判の筆は、詩や短歌、川柳などでは実に優しく情緒あふれている。

『日刊平民新聞』を舞台に多くの短歌や俳句、川柳を1200ほど発表している。その多くが川柳で日常生活を淡々と詠んでいる。

人はみな死ねば命がないものを

詩のような恋を語りし日もありき

苦節十年笠置の山を出でしより

廃兵を父に持ちける御代の春

廃兵の破れし恋をきく夜かな

三年ぶり手のない父に抱かれて寝

銅像よ雪の降る日は寒かろう

勘当じゃ一合とつても武士の

べら棒め恋にはおしき涙なり

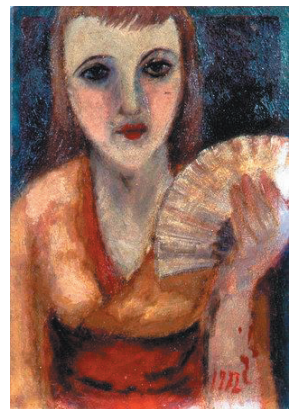
かかる世に勇士の妻は納豆売り

演習が来ては董を踏むでゆき

山賊に踏みにじられし女郎花

日中戦争と夢二

1931年9月、日本軍の大陸への砲撃が始まる。戦争へ世論が沸き立つ中でも夢二の「やさしさ」は、変わらず一貫している。直接の反戦メッセージではないが、そのやさしさが夢二を夢二たらしめて現代に生きる人間宣言である。夢二の絵は優しさが溢れた非戦のメッセージである。軍部が「戦意高揚」のため、夢二の絵を退廃的だと非難したことはその証明であろう。



→ドイツで書かれたユダヤ人女性

晩年に近い1933年（S8/49歳）ベルリンの絵画学校の講師となり、個展も計画する。スケッチや女性をモデルにした絵数多く残している。この年1月にヒトラー内閣が成立し、ユダヤ人への迫害が強くなっていく。

「焚書・焚画」が公然と行なわれ、夢二も目撃している。某サイトで「夢二は反ナチ・レジスタンス運動に関わっていた」とあるが、これは、滞在日程（4ヶ月）から考えると無理があり、それを裏付ける資料も確認されていないようだ。しかし日記や友人への手紙からヒトラーのユダヤ人迫害批判や日本批判が読みとれる。レジスタンス運動とまでは行かなくとも、何らかのユダヤ人救済活動をした可能性は十分考えることができる。

与謝野晶子は何を書いたか？

竹久夢二と同時期の歌人に与謝野晶子がいる。有名な「君死にたまふことなかれ」を発表し、反戦歌人とも言われ、晶子を取り上げない中学校歴史教科書はないそうである。「君死にたまふ…」の詩を反芻してみよう。

ああおとうとよ 君を泣く

君死にたまふことなかれ

末に生まれし君なれば

親のなさは まさりしも

親は刃をにぎらせて

人を殺せと をしへしや

人を殺して死ねよとて

二十四までを そだてしや

四十行にわたる長文の詩で、出征する弟を思つて書いた冒頭の 8 行である。

これが発表されると、文芸評論家の大町桂月は、「君死にたまふこと勿れ」を危険思想と批判した。これに対して晶子は、『明星』11月号で、「死ねよと簡単に言う事、忠君愛国の文字、教育御勅語を引用して論ずる流行の方か、かえつて危険である」と反論。歌詠みなら、「まことの心を歌うべき」で、そうでない歌には値打ちがない、そうでない人には「何の見どころもない」と見事な反論を行った。

さて、この与謝野晶子は日露戦争を前にして「君

死にたまふ……」を書いたのだが、意外なことに、続く大陸への侵略戦争（十五年戦争）に対する態度は一変し、戦争を賛美するようになる。

以下は1911年に発表した朝鮮半島併合を当然視した論評である。

「日韓併合条約の様な形式は空前だ。世界に先例の無い事だと言ふ。併しわたしは然うで無いと思ふ。日本では天皇以前に既に立派な先例がある。大國主神の御國譲りが其れである。須佐之男、大國主少彦名は朝鮮に王となり乃至朝鮮を領土として高天原朝廷に対峙した獨立國の主權者であつた。兩國の併合は諸尊以來の宿題であつたのを天照大御神の世になつて漸く解決する事が出来た。」

満州事変以後は戦争擁護の姿勢はより鮮明になる。1931年9月27日付『横浜貿易新報』に「東四省の問題」という文章を載せる。（つづく）

シベリア抑留の記録

届いた感想を紹介します。

抑留した兄の思い出と重なって

日谷 玲子（金沢）

兄は私の母が再婚した相手（私の父）の息子で、15〜16歳離れていたように思います。

中島飛行場で働いていた兄が召集され、何年か後に終戦。私の友人の父が沖繩から砂糖をリュックに入れて帰ったのをうらやましく思った覚えと“にいちちゃんはいつ変えるんや”と待っていた覚えが交錯します。

1947年か8年頃に帰宅したように思うのですが、秋山さんの帰宅とも重なって、兄もこんな体験、食物のこと、労働のこと等していたのだらうかと今となつては思いをはせるだけです。

帰宅してからの兄は小さな小さな工場で働きながら、組合作りをしたとかを頭の隅に記憶しており、抑留体験が何か作用したのかと想ったりもします。

兄は高齢になつてから、何か書きたかつたらしく私の連れ合いを通して、図書館から何か資料を借りたりしていたようでした。兄が何を書きたかつたか知るよしもない私に、秋山さんの記録は何かを伝えて下さっているような気がして、興味深く読んでまいりました。

1945年、シベリア抑留はきちんと記憶され、記録されるべきあの時代の事象であるうと思えます。

待ち望む “秋山手記の冊子”

小澤 成一（金沢）

私の父からは「南方に向かう船中で終戦を知らされた」と戦時中の話を聞かされただけだった。幼児

期に傷痍軍人を物珍しそうに眺め、少年期には戦艦のプラモデル作り、少年雑誌の戦争漫画を読み漁り、テレビが流行りだしたところにはアメリカ流れの戦争映画に夢中になっていた。子ども心に戦争とは勇ましいものだと思われてきた。

ところが事実は真逆の生き死に苦しむものだということを知ることになった。中でも60万人とも言われるシベリア抑留の話は、物心がついてからの話だった。そもそも「太平洋戦争」と呼称し対米国との戦争だと思っていたら何と戦後、50数か国を相手に、講和条約を結んだというのだから、あまりにも無知な戦時禍だった。

特に対ソ連に関しては未だに謎が多い。高級将校の敵国の扱いは違おうし、捕虜としての釈放は1958年代まで長きに続いたと聞く。

今回、秋山さんの手記に基づく連載は、そこにいる人たちの労働と人間模様が映し出され思わず読者の感情が入り、「生」に対する執着が離れなかつ

た。どうしても冊子となった本を待ち望みたい。

「シベリア抑留の記録」に思う

岩原 茂明

秋山茂さんはシベリアで、わが父は南方で抑留されました。そのふたりが駅西の「双葉町」で出会い、とても気が合っていました。つまりそれは抑留という戦争処理行為が地域の違いを超えて結び合っていたのだと思います。

秋山さんは双葉町にユートピアを作ろうとお考えでした。それは戦争の結果、権力に対する不信感が身についていたのでしょう。だから初代の町内会館、子どもの家保育園、双葉神社、すべてが町民の、わけても青年団による手作りでした。道普請も毎週青年団は駆り出され酷使されました。無から有を生み出すというのは、言葉はたやすいが無理があります。ついには町会長の選挙という例をみない事態で交代、市役所に頼むべきことは頼むという方が当

選しました。

無から有を生み出す、その思想に抑留経験のある父は共鳴していました。しかし、私らはとてもついでいけませんでした。秋山さんのユートピアとやっとおさらばだとほっとしたものです。

第二代目の町内会館、双葉町子どもの家保育園、双葉神社はこのようにしてできました(写真)。

なお、この神社はお祭りでは町内総出でみこしを



第二代目の町内会館、双葉町子ども
の家保育園、双葉神社

担いでいますが、神社庁と縁はなく自主運営です。巫女やかんなぎも地元の人でしています。そこにも秋山さんの思想が読み取れると思うのは私だけでしょうか。

秋山さん親娘との出会い

そして感動

白山 未知子

一九六九年(S44)私は金沢駅西の「双葉町子ども家保育園」で働くことになりました。

この保育園は子ども数が保育園認可基準の定員に達し、認可されたばかりでした。驚いたことに住民総出で廃校になった俵小学校の木材をトラックで運び、組み立てたと聞き、大変感動しました。

秋山茂さんは保育園の三人の理事の一人でしたが、この保育園づくり事業は秋山さんが主導したと知りました。また、この町会は町会長選挙が行なわれ、三人も立候補したと知り感動しました。秋山さんの抑留記を読んで、シベリアでの苛酷な経験が、住民との繋がりがや町づくりの原点になったのではないかと思います。

私は転居のため四年間しか働けませんでした。退職前、主任保育士の数々の不適切行為などを理事

だった秋山さんに伝え、適切に対処していただきました。

息子が小学生になった時、保育園仲間のお母さんたちと安原地区で初めての学童クラブを創りました。

秋山さんの長女・坂本富沙子さんとは金沢市内の学童保育連絡協議会（保護者と指導員で構成）で出会いましたが坂本さんが、秋山さんの娘さんであることはもちろん知りませんでした。

当時、学童保育は「子どもがケガをしないように見ていること」ぐらいしか要求されていなかったのですが、私が指導員の勉強会を提案すると坂本さんは猛反対しました。彼女は指導員会そのものが不必要だと主張したのです。

ところが彼女は休むことなく勉強会に出席するし、全国連絡協議会の研修会にも毎年参加しました。そして彼女は「杉の木ホーム」のリーダーになって「園だより」を発行するなど頑張っていました。

また、指導員会の会長に自ら立候補し、私に「あなたは厳しすぎるから副会長になるまつし」と言われました。私は納得し彼女に従いました。大変充実した指導員生活でした。

私はその十数年後、「きりん学童クラブ」を退職し、カンボジアの児童施設に赴任しました（JICA ジャICA シニア海外ボランティア）。六十一歳の時でした。

赴任が決まると坂本さんはかつての指導員仲間
に声をかけて歓送会を開いてくれました。二年の任期を終え帰国し、働いていたユニカス児童施設のサポートを始めると、さっそく会計係に立候補し、約束の十年間、一緒に活動してくれました。

その後も今日に到るまでプラス思考の交流は続いています。

不思議な秋山さん親娘との出会いを振り返り、感動に浸っています。

編集後記を兼ねて

▼竹久夢二の関東大震災時の記録が『東京災難画信』として残されています。次号に紹介します。▼昨年「鶴彬顕彰の碑前祭」に参加された鎌倉市の山田和秋さんか

映画を観ることは社会を知るのだ
山田和秋
60年安保から脱獄まで
山田和秋



ることは社会を知る
ことだ』『青年歌集
と日本のうたごえ運
動』の二冊。ウン十



年前を思い出し、今の自分の立ち位置を確認させてくれました。多謝。▼鎌倉市建長寺には剣花坊の墓と川柳碑がある▼井上剣花坊生誕一五〇周年記念句会の投句募集は11月20日です。▼乱鬼龍さん編集の『救援川柳句集』が好評です。この獄中からの川柳、購読をお勧めします。希望の方は編集室まで。▼12月句会は休会です。「個人別川柳作品集」作成の準備をします。(周)

11月例会ご案内 (毎月第4木曜日)

◆例会 11月26日(木) ◆投稿〆切: 23日(月)

◆課題「感」 3句以内 ◆自由吟 5句以内

◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論などもよろしく。

◆気を付けながら例会を再開しました。pm 7時

会場については問い合わせ下さい。

●投稿 FAX (076) 254-0762

●メールアドレスは下段に。

郵送は
下段住所へ。

「和川柳社」会報
会員募集しています!

同人: 4000 円/年
投句/購読: 2000 円/年
★会報の他に、関連資料など
もお送りします。

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30 (渡辺 寛)

電話 FAX: 076-254-0762 PC-mail: kananabe@popolo.org

携帯: 090-9445-1302 携帯 mail: kan-wata@i.softbank.jp

振込先: 北國銀行中央市場支店 #191 普通 640 「和川柳社」

発送に協力いただいています。

▼《食育のグリーンノート&土の音工房》オカリナ制作・上村彰